

日中友好のしんぶん

日本と中国

東京版

リニューアル第2号(平成27年11月1日発行) 付録
 発行:認定NPO法人東京都日本中国友好協会
 所在地:〒101-0054
 東京都千代田区神田錦町1-4日中友好会館
 TEL:03-3295-8241
 FAX:03-3295-8255
 ホームページ: <http://www.jcfa-tyo.net/>
 E-mail: to-nicchu@jcfa-tyo.net
 編集・発行:広報委員会
 編集人:森山光伸(広報委員)

2016年版友好手帳の販売を始めました。
 会員800円、一般900円
 お問い合わせは東京都日中事務局へ

市民交流の発展をめざして 2015年市民交流訪中団



2016年度友好交流活動に関する覚書調印式、および交流晩餐会

協会創立65周年記念2015年市民交流訪中団は北京市人民対外友好協会の招請で10月23日から27日まで中国を友好訪問した。宇都宮会長を総団長に総勢25人は、北京滞在中に「2016年度友好交流活動に関する覚書」調印式及び交流晩餐会、「第11回北京—東京フォーラム」と「第15回北京国際友人昆明湖ウォーキング大会」に参加した。

10月23日夜の北京飯店18階での調印式等には、呂錫文会長はじめ多数の前常務副会長の老朋友、市の外事弁公室、婦人・青年・商工等連合会、駐中国日本大使館の伊藤康一公使など各界の代表が参列した。首都同士の草の根の交流のさらなる高まりを物語る盛大な友好交流会となった。

爽やかなゴルフ日和の第2回日中親善ゴルフ大会



加した。

スタート前、全員で写真を撮り、2コース4組ずつに分かれてプレイが始まった。プレイ終了後の懇親会は、中村明弘実行委員長挨拶で始まった。主催者を代表して都日中宇都宮徳一郎会長は「ゴルフというスポーツ交流を通じて親睦が行われていることは本当に素晴らしい」と挨拶した。華人華僑

2回日中親善ゴルフ大会は9月26日(土)認定NPO法人東京都日中友好協会、全日本華人華僑総工会の主催により関越ハイランドゴルフクラブで行われた。8組29名(中国大使館2名)が参

総工会から応援にかけつけた鈴木宝利副主席と任志鵬事務局員。代表して鈴木副主席は「雨から曇り、そして晴れ、今日の天気ように日中友好交流が一層発展するよう願う」と述べた。中国大使館景春海参事官は「都日中の取組みに今後も一層協力したい」と挨拶し乾杯を行った。

朝妻敏夫理事より成績発表が行われ、栄えある優勝は小山三喜雄さん、優勝カップが宇都宮会長より渡された。優勝賞品などは東京華僑総会、全日本華人華僑総工会、平井靖人理事、ゴルフ場から提供され、また、参加者からの持寄り景品も頂き、心よりお礼申し上げます。

閉会の挨拶は中野修常務副会長より「開催場所が少し遠かった。次回は近場の会場設定、早めの準備を、実行委員長を中心に進めたい。」と述べ会を閉じた。

贈り物に丸大ハムギフトをどうぞ!



※弊社「王覇熟成ホワイトロース・王覇熟成ホワイトボンレス・王覇熟成ロースハム・王覇熟成ボンレスハム」「煌彩特選ロースハム・特選ホワイトロースハム」が2015年モンドセレクション最高金賞を受賞いたしました。

確かなものを贈られる方に、喜ばれています。

丸大食品株式会社東日本特販営業課



全国大会出場者決定！ 第33回全日本中国語スピーチコンテスト東京大会



9月27日(日)、第33回全日本中国語スピーチコンテストが渋谷区リフレッシュ氷川で開催された。参加者は発表者40名、傍聴者30名、スタッフ9名。審査を行ったのは山下輝彦先生(慶應義塾大学名誉教授)、胡興智先生(日中学院専任講師)、謝宏宇先生(中国国際放送局東京支局長)の3名で総勢82名の大会だった。

午前中に、朗読の部【A:独自選定課題】18名、【B:全国大会予選】16名の発表を行い、午後には弁論の部6名の発表と、模範朗読、講評、結果発表、表彰式が行われた。

朗読の部では、今年大学・専門学校入学の方の参加も多く、中国語を学ぶ意欲がうかがえた。また弁論の部では、「なんとしてでも全国大会に」と、再度チャレンジの方も。熱気あふれた発表であった。

朗読の部では、今年大学・専門学校入学の方の参加も多く、中国語を学ぶ意欲がうかがえた。また弁論の部では、「なんとしてでも全国大会に」と、再度チャレンジの方も。熱気あふれた発表であった。

胡興智講師の講評は、「スピーチコンテストでは、発音が重要」、「中国語を使う環境にある方は、特に普通語を意識してスピーチをしてほしい。方言には方言の温かみがあるが、朗読や弁論で競い合うとなると基礎力の評価として低くなってしまふ」、「有気音がきっちり出ていない」などの点が指摘された。朗読の部については、「気持ちに走ることなく相手に伝える必要がある」、「以心伝心は中国にはなく、言葉で伝えること必要だ」といったアドバイスがあったが、発表者の皆さんの努力については大きな評価をいただいた。

今年から中国大使館賞が新設されたことに加え、宇都宮徳一郎会長の出席により、入賞者は会長本人から表彰をいただいたということもあり、大変盛り上がった大会になった。

また、2016年1月10日(日)に開催される、公益社団法人日

中友好協会主催の全国大会には、古西将基さん、伴祐一郎さん、加藤敬子さん、赤池晴香さんを推薦することを決定。

なお、各部門の入賞者は以下の通り。

入賞者一覧

朗読の部

A: 東京都日中友好協会 独自選定課題

【基礎部門】最優秀賞:中村友美(東京外国語大学)／優秀賞:増田修平(東京外国語大学)／努力賞:齋藤麻梨子(会社員)

【応用部門】最優秀賞:高佩瑾(神田外語学院)／優秀賞:西山真由(東京外国語大学)／努力賞:船山明音(フリーランス編集・校正者)

【アナウンス部門】最優秀賞:永山南美(東京外国語大学)／優秀賞:岸悠太(筑波大学)／努力賞:該当者なし

B: 全国大会予選

【中学生・高校生の部】最優秀賞:該当者なし／優秀賞:古西将基(関東国際高等学校)／努力賞:該当者なし

【大学生・大学院生の部】中国大使館賞:伴祐一郎(東京外国語大学)／優秀賞:今吉雄亮(神田外語学院)／努力賞:齊藤亜実(神田外語学院)

【一般の部】応募者なし

弁論の部

【高校生の部】応募者なし

【大学生・大学院生の部】東京都日中友好協会会長賞:赤池晴香(東京外国語大学大学院生)／優秀賞:森田麻友美(東京外国語大学)／努力賞:山本美紀子(日中学院)

【一般の部】北京市人民对外友好協会会長賞:加藤敬子(主婦)／優秀賞:該当者なし／努力賞:該当者なし



会長賞受賞者、赤池晴香さんから一言

約7年半の中国語学習で私が心がけてきたことは、「静的学習法」と「動的学習法」の両方を行うということです。皆さんにとって耳慣れない学習法だと思いますが、

「静的学習法」は、自分が座って動かず、受身である勉強のことです。学校、教室での授業や、参考書を使っての自学、読書、ラジオを聴く、映画を観ること等がこれにあたります。この学習法では、文法や語彙等の知識を増やしたり、リスニング力をあげたりすることができます。しかし受身なため、知識が頭の中に留まって、実際に使おうとするとなかなか出て来ないことが問題です。

「動的学習法」は、自分が実際に動きながら中国語を使い、し

静的学習法と動的学習法

かも自分が発した中国語によって何かの目的を達成出来る勉強です。例えば中国人の友人と遊んだり、中国語のイベント(演劇、カラオケ大会、スピーチコンテスト等)に参加したり、旅行に行ったりすることです。この場合、すぐに反応を返すことが必要で、更に目的達成のために何が何でも中国語を使おうとするので、真の中国語力を伸ばすことが出来ます。しかし、慣れてくると自分の使える表現だけを使ってしまい、知識の更新が出来ないのが難点です。

私自身の経験では、「静→動→静→動…」というサイクルで行うとより効果的です。外国語である以上、一定の知識が無いと何も出来ませんし、知識だけあってそれを運用出来ないのもだめでしょう。頭の中にある中国語の知識を体に下ろしてきて動作し、それで目的達成する…というプロセスが大切だと思います。

中国留学体験発表会 中国で「中国語」を学ぶとは

このたび、中国の大学に留学していた当協会の青年委員会メンバーより、中国での体験を発表する会を企画しました。最初に、中国に留学をしようと思ったきっかけや留学前の準備、中国での学生生活、授業の内容、どのように中国語を習得したのか、留学で得たものなどについて、伊藤洋平(中国法政大学(北京))、中村佑(武漢大学)よりご説明します。その後、山崎将大さん(北京語言大学)、滝口賀子さん(浙江大學)も加わってお話します。質疑応答の時間も設けておりますので、皆さんたくさんの質問をご用意の上、ふるってご参加ください。

日時:2015年12月3日(木) 19:00~20:20

会費:500円(飲物付)

場所:梅窓院本堂棟 地下1階 講堂 (港区南青山 2-26-38)

定員:50名(定員になり次第締め切ります)

参加ご希望の方は、お名前と電話番号・メールアドレスをご記入の上、to-nicchu@jcf-a-tyo.net までお申込みください。

中国問題を読み解く 9月講座 日本のマスコミと日中青少年交流

9月16日、工学院大学孔子学院と東京都日中友好協会の共同講座「中国問題を読み解く」の講師は日中関連書籍を出版する日本僑報社代表の段躍中氏。

段氏は、1991年に日本語も出来ないまま、妻が住む東京にやってきた。しかし、当日妻は仕事があり成田へ迎えに来ることができなかった。まったく地理も日本語も分からない中、やっとの思いで妻が住む東京巣鴨に到着。携帯電話もなかった時代、駅から妻に電話するため電話ボックスに入り話し終わって出てからしばらくして持っていた全財産の入ったバックをボックスに忘れた。あわててボックスに戻るとバックはそのままあった。バックを見た瞬間、「バックがあった。日本って、何と素晴らしい国だろう。地球上にこんな国があるのか。中国ではとっくに無くなっている」とバックを見つめながら感動したという。早速、仕事を探すために妻が方々に電話をした。日本語のできない中国人を雇ってくれる職場はなかなか見つからなかった。ところが幸いにも上野の小さな居酒屋で働かせてもらうことができることになった。そこの経営者が右も左もわからない中国人に、新聞記事を読みながら熱心に日本語を教えてくれた。「なんと優しい人だろう」。その後、日本のマスコミは中国人の悪いところだけを報じる。

確かに悪い人もいるが、それは一部でほとんどの中国人は悪い人ばかりではない。段氏は、「そうだ中国人のいいところを日本人に知ってもらおう。日本のいいところを中国人に知ってもらおう」ということで出版社を作ることを思いつき、日本僑報社を設立した。



段躍中先生

主な事業は、中国を日本に紹介することや日本を中国に紹介する本を出版している。それ以外に中国の大学生中心に日本への留学未経験者を対象に日本語の作文コンクールを05年から始めた。これまで延べ27,000人の応募があった。優秀者には日本への留学費用の奨学金も出す。反日デモがあった13年に応募者は減るだろうと心配したが、288人も増えたという。来日した時に日本の人々に親切にしてもらった、その恩を忘れずに今後も日中関係の発展に貢献していきたい。「私は肌身で日本人の優しさをしているから」という。

国際交流おみこしを担ぐ会に協力



9月27日、文化交流委員会は池袋ふくろ祭りでの国際交流おみこしを担ぐ会に協力、当日は200名近い参加者

が日本の伝統的なお祭りを楽しんだ。今回は都日中の会員でもある東京三立学院の小山三喜雄校長の御尽力で同校から多数の若い留学生の参加もあり、それぞれがおみこしを担いだり、交流会では日本人や、また他国の留学生とコミュニケーションを図ったりと満喫した一日を過ごしたようであった。

地区協会だより

北区日中友好協会主催 レッツゴー!!バスハイク 11月8日(日) 日帰りバス旅行

王子駅前公園→きぬ川ホテル三日月→日光東照宮→あしかがフラワーパーク→王子駅前公園

日本人 9,000円 中国人 8,000円 子供・学生 5,000円 詳細は北区日中友好協会 ☎03-3911-2381(丸山事務所)

「駐在員が見た素顔の中国事情」

山東省青島市に10年間駐在員として赴任した著者の滞在記。

様々な出来事を現地暮らし者ならではの視点で綴る。

著者:加藤勝正 (株)エスコムコミュニケーション青島事務所長

発行:(株)エスコムコミュニケーション 豊島区池袋 2-14-2-9階

価格:定価 1500円(税込)

観光・研修・交流 **中国国家観光局** 虎ノ門

北京での観光や視察の際は・鼓樓すぐそば
心の旅・家族のおもてなし **四合院**

中国大使館主催 第2回 錦秋交流の夕べ

9月15日(火)夜、中国大使館にて、舛添都知事、各区長・市長・議長等300人が招かれ盛大に開催された。都日中からは宇都宮会長ら各区議連と地区代表等73人が参加。程大使は挨拶で東京―北京両都市の要人の相互訪問が行われ、両都市の友好交流に新たな1ページを加えたことを歓迎され、今後の更なる

友好交流を期待すると語った。

参加者は、大使館の心づくしの歓待のもと、用意された食事等をしながら、参加された各界の人たちと親睦をはかり、大いに友好ムードを盛り上げた。



北京街角だより 北京市人民対外友好協会のご紹介

北京の中心部に位置し、まさに政治の中枢とも言うべき国家の機関等が密集する一角にあります。王府井からも程近く、天安門・故宮の東側に位置しています。都日中の窓口として常に接しているのが「業務二部」のメンバー3人で、日本語も達者です。いつも、中国内外の交流窓口と連絡したり、折衝したりと、多忙な毎日を送っています。今後、また北京に赴くような機会がありましたら、故宮や東華門、そしてこの地区を散策・ブラ歩きをすると、北京でのまた新しい発見が待っているかもしれません。



李維建さん 盧燕寧さん 馬惠麗さん



新入会員から 西尾友理さん



大家好！

2015年春より東京都日中友好協会の青年委員会に参加した西尾です。

普段はIT関連の会社で会社員をしています。学生時代は、外国語大学で中国語を専攻し、中国には特別な思いを抱いておりました。しかし社会人になってからは多

忙を理由に言い訳に、中国とのかかわりが薄くなり、このままではいけないと感じていました。そんなある日、一念発起して都日中に電話を入れ、メンバーの話を伺ったことをきっかけに、都日中に入りました。現在、私は青年委員会の広報の活動に力をいれており、最近はウェブページを立ち上げて青年委員会の活動を世の中に発信しています。今後も青年委員会をより多くの人に知ってもらうことで都日中に貢献していきたいです。

11月23日(月・祝) 健康麻将を楽しむ会 参加者募集! お待たせしましたマージャン愛好家の皆様!

日時:11月23日12時30分集合(終了18時半 半荘4回戦) ※ルールは日本麻雀で行います(中国麻雀のルールも指導)。
会場:インペリアル神保町店(地下鉄・神保町駅徒歩1分)(千代田区神田神保町3-2-1 サンライトビル3階 ☎03-3262-8700)

参加費:3,000円(中国留学生2,000円 参加歓迎) 募集人数:32名

主催:認定NPO法人東京都日中友好協会/(一社)日本健康麻将協会/千代田区日中友好協会

東京都日中友好協会では昨年に引き継ぎ「健康麻将を楽しむ会」(「麻雀」ではなく「麻将」)を開催します!「マージャン」ではなく『健康麻将』とは「賭けない、飲まない、吸わない」と「礼儀正しくマナーを重んじる」をコンセプト、「脳の若返りにも効果」、高齢者の間でもブームになっている純粋なゲーム。中国の伝統文化「マージャン」を紹介する活動として「日本健康麻将協会」の趣旨に賛同し、協会の協力、指導のもとに企画したイベントです。なお、初心者の方向け(1卓)、中国の方向け麻雀(2卓)も用意いたします。奮ってご参加ください。

参加ご希望の方は、お名前、電話番号、メールアドレスを明記のうえ to-nicchu@jcfa-tyo.net までお申込みください。

寄附金・賛助金をくださった方々(8.21~10.20、順不同)

金佩華、神山好市、白石克人、関根志奈子、中野東禅、仁井妙子、野呂恵子、傅健興、中野修、三宅進、佐藤進、金久保綾子、渡辺貴美子、中根純、松原忠義、佐伯久吉、伊井健一郎、片岡新、桑ヶ谷森男、松井幸雄、片岡健、並木秀夫、栗山眞之、荒井和子、三好敏、酒井彩、多田義明、中島幼八、小穴源太郎、柳田昌男、向山たつ美、加納邦幸、尾崎隆信、木下伸子、下田長四郎、中条商事株式会社、西島保治、橋本准子、安里喜久夫、鈴木美緒、永田哲二、永田恵子、穂戸田久雄

ご協力ありがとうございました。

後記: ご意見、ご要望等お待ちしております。今後、機関紙の配信はメールを中心に行いたいと思いますので、PCのアドレスをお持ちの方は東京都日中事務局までお知らせください。FAX:03-3295-8255 E-mail:to-nicchu@jcfa-tyo.net